

令和4年度 第1回下松市地域公共交通活性化協議会

議事要旨

○日時：令和4年6月1日（水）10:00～11:00

○場所：下松市役所 1階 103会議室

○出席委員：18名（欠席5名）

真鍋委員、斎田委員、河内委員、河村委員、清水委員、田中委員、六反委員（代理：岩本昇）、相本委員、西村委員、古田尊委員、瀬来委員、山田委員、久保田委員、田川委員、古田健委員、安野委員、金織委員

○事務局：企画政策課

○オブザーバー：株式会社バイタルリード

1 開会

2 議事

（1）コミュニティバス（米泉号）について

- ・資料1を基に地域内フィーダー系統確保維持計画認定申請について事務局から説明。
- ・運行内容の変更は無し。
- ・米川地区は人口減の状況ではあるが、利用促進等により微増を目指し、利用者数の目標は96人/月とする。

発言者	発言要旨
会長	質問、意見はないか。
委員	アンケートの実施は非常に重要と考えている。いつ実施するのか。
事務局	R2年度にアンケートを実施した際は、その意見を踏まえて上地上バス停を停留所に追加した。住民の意見を運行に反映するのは重要と考えている。今年度は7月ごろを予定としている。
会長	R5年度（R4年10月～R5年9月末）も実施するということで良いか。
事務局	アンケートは2年おきに実施することになっており、今年実施するため令和5年度（R4年10月～R5年9月末）はアンケート実施の予定はない。 今年7月に実施するアンケートの結果は、そのころに報告できるのではないかと考えている。
会長	本格導入する前も試乗していただいたりしている。本格運行後もバス停を増やす、時刻の調整など、意見もできる限り反映している。 事務的な話でわかりにくいかもしれないが、利用者の数値目標も若干上げて利用者も増やしていきたい。コロナ禍で通常の統計は取れないかもしれないが、免許返納や警察とも連携し、啓発しながら利用者を増やしていきたい。 この案について採択する。併せて、今後軽微な変更があれば事務局で責任を持って対応するということによろしいか。

各委員	(全員挙手)
会長	全員挙手ということでこの内容で支局へ提出する。

(2) 令和4年度の実施予定事業について（報告事項）

- ・以下の3点について事務局から説明。

① 地域公共交通計画の策定について

・下松市地域公共交通網形成計画がR4年度で終了し、法律改正に伴い地域公共交通計画が努力義務化されたことにより、今年度は地域公共交通計画を策定する。新計画の特徴として地域の輸送資源を総動員することなどがある。

・策定業務は業務委託する。協議会は例年3回だが、今年度は約4～5回の開催を見込んでいる。次回は9月ごろの開催予定で、具体的なスケジュールや、現状、調査資料の結果を提供し、課題や問題点、解決策や目標などを協議していただきたい。

市民の意見を集約し活発に協議したい。

② 米泉号のアンケート調査の実施

・人口減少やコロナの拡大に伴い利用者数も減少しているが、利用者の意見を把握し利用促進等の施策に生かしたい。

③ 笠戸島、久保地区での検討

・引き続き意見交換会を進め、地域に合った交通について検討したい。

その他、例年のとおり、周南市・下松市公共交通マップのデータ更新を考えている。

発言者	発言要旨
会長	<p>地域公共交通計画策定の考え方を提示した。素案を見て皆様よりご意見をいただきたい。</p> <p>計画の中にスクールバス事業や「あったか便」がどうとかは掲載されないが、計画策定にあたっては市として総論で考えていかなければならぬ。市民団体等と検討したい。</p> <p>米泉号はしっかりと住民の意見を聞き反映する。アンケートは2年に1回実施するが、必要に応じて意見照会を行う。JRや防長交通のダイヤ変更もあるので、意見のすり合わせの必要があれば臨時的に実施することもある。</p> <p>笠戸島や久保地区、その他バス路線がない地域もあるが、社会福祉協議会を中心とした協議体で年10回くらい意見を聞いている。福祉的な意見と公共交通をどうつなぐのか、協議していく上で今年度の事業計画として挙げている。</p> <p>DX、交通事業者が行うものは積極的に支援する。高齢者には抵抗があるかもしれないが、バスロケーションシステムや付加価値のあるカードがあれば利用する価値も上がるかと思う。マイナンバーカードとの組み合わせも考</p>

	<p>えると良いのでは。次回に意見をもらいたい。</p> <p>その他、ご意見ご質疑を承りたい。</p>
委 員	市内全域の活性化はわかるが、周南市・光市との連携を考えないと、市内だけではいけないと思う。鉄道のことも考えて持続可能なものを作っていくかいないといけないのではないか。
事務局	おっしゃる通り、下松市は周南市や光市と密接に結びついている。市内のみならず、またがるバス路線や鉄道について検討を進めていく必要があると考えている。
会 長	各バス会社の路線について、一つの市で完結するものではない。各公共交通体系によってそれぞれ市をまたいだ協議会がある。鉄道は利用促進協議会があるし、バスも防府市まで入れて検討することがある。タクシーも関連するところがあると思う。次の計画に盛りこみたい。
委 員	異動で今回より担当になった。よろしくお願いします。 事務局の説明に補足する。今年度計画を策定されるが、資料3の5ページ3番に「補助の運動化」がある。バスの補助金と網形成計画は運動が必須ではなかったが、今回補助制度が改正し、新しい計画の中で路線の必要性を位置付けることが必要になる。地域間をまたいだ交通についての意見もあったが、地域間幹線はこれまで県で計画を立てていたが、交通計画に盛り込む必要があるので注意が必要。よりよい計画ができるよう手伝いをさせていただきたい。
会 長	資料3をよりどころに計画を作る。その辺も盛り込みながら策定したい。
委 員	マップの改定の話があったが、周南下松光を合わせて都市圏が設定されているはず。マップに光市も入れてはと思うがその予定はあるか。
事務局	バス路線の大半が周南市方面に流れていることもあり、周南下松がメインになっている。周南都市計画区域に含まれていることで、光市を含めることも検討する。
委 員	ぜひよろしくお願いします。
会 長	3市が生活圏となっている。これは3市で協議していきたい。 笠戸島は県道沿いに集落があり、路線バスの運賃減額実験をしたこともあったが結果はうまく出なかった。そこで社会福祉協議会を中心とした協議体で検討をしている。社会福祉協議会の方で話は出ているか。
委 員	笠戸島には3地区あって、協議体で協議しているがどうもうまく回らない。協議体が難しい状況。公共交通がうまくいけばまとまるのではないかと思う。
会 長	利用者がいないと採算性のことがある。笠戸島を運行するバスを見ていると1人も乗っていない便もある。防長交通も厳しいし、市から税金も投入しないといけない状況。今年度の中心課題とする。
	全体を通じて何かあればご意見をいただきたい。

	ご意見がないようなので、コロナ対策について国と県の制度について周知していただきたい。
委 員	コロナ対策に限ってはいないが、原油価格の高騰で困っている状況であるということで、ガソリンや軽油の緩和対策事業は引き続き実施する。タクシーに対しては LP ガスの高騰分に対する補助が新設され、何回かに分けて受付している。ただ、今は R3 年度末までの分となっており、今年度分は今後になる。
委 員	さっそく申請している。R3 年度の差額分の何割かの補助だが、大変助かっている。LP ガスの価格が山口県は広島県と比べても安い。都道府県によってかなり違うが、山口県は中間クラス。古田尊子委員の話に関連して、タクシーは営業区域が決まっており、勝手に他の区域で乗車させるわけにはいかない。H30 年ごろに国の施策で営業区域が狭くなってしまった事がしにくくなつた。営業区域を緩和して市をまたいでスムーズに運用できると良い。
会 長	補助制度をしっかり利用していただいているということであった。 営業区域に関するご意見は、国には持ち帰っていただきたい。 県については、渡邊委員が欠席だが事務局でわかれれば説明をお願いしたい。
事務局	交通事業者に対する支援として、車両や船舶の維持に関する経費について、コロナ対策として支援をしている。また、燃料価格高騰に対する緊急支援事業として、バス、タクシー、フェリー、地域鉄道について R3 年度分について一部助成を行っているとのことである。
会 長	全ての解決にはならないと思うができる限り支援する。 市もコロナ臨時交付金を使い、経済全般と収入減少者全般に網羅なく行くように総額 2 億 2,500 万円のプレミアム商品券を対策としている。今後特定の業種について特に厳しい業種等があれば、臨時公金を使って支援の検討をしていきたい。

2 その他（連絡事項等）

発言者	発言要旨
会 長	事務局より連絡事項があればお願いしたい。
事務局	次回の開催は 9 月ごろを考えている。
会 長	以上で第 1 回下松市地域公共交通活性化協議会を終了する。

一 委員名簿 一

	所属	役職	氏名
1	下松市	企画財政部長	真鍋 俊幸
2	防長交通株式会社	取締役 副社長	斎田 稔
3	中国ジェイアールバス株式会社	運輸部生活交通活性化推進室 室長	河内 政好
4	西日本旅客鉄道株式会社 山口支社	企画推進課 総括主査	田阪 祐司
5	メトロ交通株式会社	取締役	河村 英輝
6	一般社団法人 山口県タクシー協会	理事	清水 延隆
7	下松市自治会連合会	会長	田中 豊
8	シニアクラブ下松	会長	六反 弘道
9	社会福祉法人 下松市社会福祉協議会	常務理事	相本 美重子
10	下松市小・中学校 PTA 連合会 母親委員会	代表	西村 和歌子
11	下松市連合婦人会	会長	古田 尊子
12	下松市	健康福祉部長	瀬来 輝夫
13	中国運輸局山口運輸支局	首席運輸企画専門官	山田 敏行
14	私鉄中国地方労働組合 防長交通支部周南分会	分会長	西林 光
15	中国地方整備局 山口河川国道事務所	交通対策課長	三浦 道人
16	山口県周南土木建築事務所	企画調査室主幹	壽恵村 良成
17	下松市	建設部長	久保田 幹也
18	下松警察署	交通課長	田川 勇
19	徳山工業高等専門学校	土木建築工学科教授	古田 健一
20	山口県観光スポーツ文化部	交通政策課長	渡邊 昭博
21	下松商工会議所	専務理事	安野 政行
22	下松商業開発株式会社	代表取締役	金織 平浩